

指定管理業務点検・評価シート(平成27年度業務)

平成28年9月1日

施設名	とっとりバイオフロンティア	所在地	米子市西町133番地2
施設所管課名	商工労働部産業振興課	連絡先	0857-26-7244
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	平成26年度～平成30年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積:1,260.84㎡ ○施設内容:研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4他
利用料金	(別紙のとおり)
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、事前申請により開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、事前申請により休館日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の維持管理に関する業務(施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等) ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務(利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務) ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務(相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等) ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員:2名、任期付職員:5名、非常勤職員:1名〔計8名〕
	<p>【体制図等】</p> <p>施設長(正職員、機構バイオフロンティア推進室室長兼務)</p> <ul style="list-style-type: none"> 副施設長(正職員、機構バイオフロンティア推進室副室長及び管理グループ長兼務) <ul style="list-style-type: none"> 管理担当スタッフ(任期付職員) 会計スタッフ(非常勤職員、機構本部駐在) バイオマネージャー(任期付職員) <ul style="list-style-type: none"> 事業推進グループ長(任期付職員、サブマネージャー兼務) <ul style="list-style-type: none"> 人材育成コーディネーター(任期付職員) 機器管理担当スタッフ(任期付職員)

4 施設の利用状況

利用者数(人:貸 実験室等入居者 含む)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	27年度	2,608	2,626	2,614	2,880	2,733	2,844	2,937	2,864	2,797	2,746	2,796	2,749	33,194
26年度	1,863	2,040	2,171	2,420	2,242	2,404	2,438	2,506	2,675	2,620	2,610	2,757	28,746	
増減	745	586	443	460	491	440	499	358	122	126	186	△8	4,448	

利用料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	27年度	1,373	1,396	1,472	1,371	1,429	1,360	1,367	1,440	1,332	1,241	1,364	1,340	16,485
26年度	815	1,805	1,508	1,498	1,507	1,536	1,505	1,503	1,617	1,524	1,494	1,399	17,711	
増減	558	△409	△36	△127	△78	△176	△138	△63	△285	△283	△130	△59	△1,226	

5 収支の状況

区 分		27年度	26年度	増 減	
収入	事業収入	賃借料	8,250	8,006	244
		動物実験棟使用料収入	4,831	6,671	△1,840
		機器使用料	3,402	3,034	368
		その他	2	0	2
		小計	16,485	17,711	△1,226
	事業外収入	光熱水費負担金収入	2,593	2,262	331
		自動販売機手数料	153	120	33
		受取利息	1	5	△4
		県委託料	98,901	90,225	8,676
		小計	101,648	92,612	9,036
計	118,133	110,323	7,810		
支出	人件費	30,794	30,425	369	
	管理運営費	87,339	79,898	7,441	
	計	118,133	110,323	7,810	
収支差額		0	0		

6 労働条件等

確認項目	状況			備考	
	正職員	任期付職員	非常勤職員 (本部常駐スタッフ)		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働者 を雇床する場合は作成、届 出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	※労働基準監督署長への 届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	※幅がある場合は上限、下 限を記入
	時間管理の手法	自己申告	自己申告	自己申告	※タイムカード、ICカード、自 己申告、使用者の現認など の別を記入
	休暇、休日の状況	休暇:年20日 休日:毎週土・日曜日、国 民の祝日	休暇:年20日 休日:毎週土・日曜日、国 民の祝日	休暇:年20日 休日:毎週土・日曜日、国 民の祝日	※幅がある場合は上限、下 限を記入
給与	給与金額	265千円/月	295千円/月	135千円/月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施			
	産業医の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者(衛生推進者)の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※業種・規模の要件あり

(参考)

○労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例(労働基準法に基づくもの)

- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合(労働基準法第18条)
- ・1ヶ月単位の変形労働時間制(労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要)
- ・1年単位の変形労働時間制(労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか)
- ・1週間単位の変形労働時間制(労働基準法第32条の5)
- ・時間外労働・休日労働(労働基準法第36条 いわゆる「36協定」)
- ・事業場外労働のみなし労働時間制(労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合には不要)
- ・専門業務型裁量労働制(労働基準法第38条の3)

○各種管理者等の業種・規模に係る要件(労働安全衛生法に基づくもの)

種別	業種	規模(常時使用する労働者数)
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業(物の加工業を含む。)、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人(1人選任)
		201人～500人(2人選任)
		501人～1,000人(3人選任)
		1,001人～2,000人(4人選任)
		2,001人～3,000人(5人選任)
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。(開催回数18回、参加者数延べ484名) ・利用者から要望のあった実験分析機器のメーカー担当者による使用に係る説明会・研修会を行い、実際の使用時にも財団担当職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。(開催回数14回、参加者数延べ156名)
設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・実験機器については、日々作動確認を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる対応を行った。 ・実験の実施に当たっては利用者が各種法令に基づく適正な実験や動物管理が行えるようマニュアルを作成し、誰でも分かるよう掲示した。また動物実験実施者が施設および実験機器をより利用しやすくなるように管理マニュアルを改訂し、鳥大5階動物飼育施設(指定管理施設)と鳥大3階動物飼育施設(鳥大施設)との行き来を可能にした。 ・施設入居者より要望のあった設備等を導入した。(詳細は"8利用者意見への対応"に記載) ・機器の配置変更を行い、スペースをより有効に活用できるようにした。
事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ関連学会・セミナー等に積極的に参加し、バイオ関連情報の収集に努め、施設利用者に最新のバイオ業界の動向やバイオ関連企業のニーズなどの情報提供を行った。 ・バイオマネージャー及びR&Dコーディネーターを中心として、県内企業及び県外製薬企業などを訪問し、入居者の事業支援等を行った。 ・鳥取大学と共同研究開発等を実施するバイオ関連企業の入居が決定した。 ・バイオ系大型展示会に出展し、出展社セミナーの他、ブース内プレゼンも企画し共同出展の製品・技術PRを支援した。 Biotech2015(平成27年5月13-15日)、BioJapan2015(平成27年10月14-16)メディカルジャパン2016(平成28年2月24-26日) ・海外市場調査委託事業としてバイオ関連コンサルタント会社が下記のイベントに参加し、人工染色体技術に関するPR、バイオ関連の最新動向調査、バイオフィロンティアの英語パンフレットの配布を実施し、マッチングの可能性について提案した。 BIO Investor Forum(平成27年10月20-21日)、World Alliance Forum in San Francisco(平成27年11月12-13日)、J.P. Morgan 34th Annual Healthcare Conference 2016 San Francisco(平成28年1月11-15日)、Molecular Medicine Tri-Conference(平成28年3月6-11日) ・入居企業に同行し製薬企業を訪問、技術紹介および企業のニーズのヒアリングを行った。 ・入居企業へ補助金等の紹介、補助金等申請に係る資料作成のサポートを行った。ベンチャーキャピタルへの投資相談のため、事業計画書作成および技術説明をサポートし、1社からの投資を達成した。 ・施設利用企業へ補助金等の紹介をし、補助金等申請に係る資料作成をサポートした。また、企業を紹介し協業が決まった。 ・立地戦略課に同行し企業訪問を行った。入居企業や鳥大発バイオベンチャーの事業紹介を行い、接点のありそうな部分について県内企業に情報をフィードバックした。訪問企業から共同研究企業を紹介して頂き、同社による人材育成セミナーでの講演が実現した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとりバイオフィロンティア危機管理マニュアルの改訂及び動物施設危機管理マニュアルの策定を行い、危機管理に対する対応を明確化した。 ・鳥取県産業環境協会に施設内で使用されている化学物質の管理及び取扱いについてのコンサルティングを依頼し、とっとりバイオフィロンティア化学物質管理規則の改訂(案)及びマニュアル(案)の作成を進めた。 ・ホームページを利用し、施設の目的・概要、から利用料金まで幅広い情報を提供した。また、昨年度開始した『facebook』に加えて、『YouTube』を活用した情報発信を開始した。 ・企業へのPRを意識したパンフレット、DVDの制作、イベント時に資料を入れる紙袋やクリップ等のノベルティグッズを企画、作成し、イベント時に配布し、PRに努めた。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	利用者の要望、意見については4月に行った利用者への説明会兼意見交換会にて把握し、また、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
オートクレーブ内でガラス瓶が割れてしまうという事例があり、メッシュ状のカゴだけでなくバケツタイプのカゴを設置して欲しいという要望があった。	ステンレスカゴを購入し、滅菌されるものによって使い分けていただけるようにした。
遺伝子導入が困難といわれる細胞へも高生存率・高導入率に導入できる装置をぜひ導入して欲しいとの要望があった。	スーパーエレクトロポレーターを購入。人材育成セミナーとして取扱説明会を実施した。
開放実験室にもう少し実験(作業)スペースが欲しい。年々実験室利用者が増えてきたので、少し手狭感がある。PCRマシン等の機器は棚に置いた方がスペースが有効に使えるのではないか。	電気工事を実施し、実験台を購入。機器の配置変更を行い、スペースをより有効に活用できるようにした。
以前から、染色体標本作製するのに必要な生物顕微鏡及び恒温槽導入の要望があった。同機器を導入することにより、細胞培養から染色体標本作製、染色体解析までの一連の実験作業が開放実験室内で実施できるようになる。	生物顕微鏡、恒温槽を購入。
研究支援棟A5階エリアの実験機器などをより利用しやすくして欲しい。	マニュアル改訂を行い、研究支援棟A5階エリアと3階339との行き来を可能にした(実験実施者、実験動物ともに)。ひいては、大学からの企業への技術移管をスムーズに行える体制を整えられた。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・BioJapan等大型展示会・商談会、への出展支援等、企業PRを進めてもらい助かる。 ・企業訪問の同行をしていただき助かる。 ・展示会出展、企業訪問等から共同開発のきっかけづくりとなった。 ・機器使用の説明会等があり助かる。 ・機器が揃っていて非常に実験しやすい環境である。 ・機器利用料金が非常に安価で助かっている。

9 指定管理者による自己点検

<p>〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者から要望のあった実験分析機器に係る説明会・研修会を実施。加えて、職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。 ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。 ・地元企業の展示会出展を積極的に推し進めた。 ・県外企業誘致に努めた。 ・ホームページリニューアルに取り組んだ。

<p>〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用拡大と事業化の推進、共同研究先である企業の誘致等を図っている。 ・居室等が満室で今後の研究等の進展でベンチャーや共同研究参画社の入居希望に応えられない状況にある。入居者からのスペース拡大や県内外からの入居希望もある一方、入居企業の事業が自立して退出するまでには育っていない。 ・地域産業振興へのつながりについて、出口戦略が製薬企業であり地域企業とのつながりが希薄です。地域企業との接点の拡大に努めている。

10 施設所管課による業務点検

項目	評価	点検結果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・鳥取大学との共同研究開発等を目的としたバイオ関連企業の入居が決定。 ・説明会の開催、学会・セミナーへの参加、企業訪問等を積極的に行い、利用促進に向けたPRを実施(対前年比でセミナー等でのPRは約3.5倍、企業訪問は約2.4倍の増)。 ・利用者からの要望を踏まえ実験機器使用説明会の開催回数を増やす(対前年比で、開催回数は2倍、参加人数は約2.7倍の増)とともに、利用者からも評価を得ている。 ・事業化支援において利用者からの評価が向上。
〔利用者総合支援業務の実施状況〕 ○利用者の研究開発及び事業化推進(事業計画、進捗状況把握等) ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・バイオ系大型展示・商談会への出展支援、企業訪問への同行等により、利用者と製薬企業との共同開発のきっかけを作った。 ・海外展示会への参加による、技術PR、施設紹介、市場調査等をバイオ関連コンサルタント会社に委託実施。
〔バイオ人材育成事業の実施状況〕 ○人材育成カリキュラム作成・研修実施 ○広報等 ○事業評価、ニーズ把握、効果検証	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・セミナーの開催回数、参加人数とも増加した。
〔収入支出の状況〕	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・複数年契約、自己メンテナンス等の実施により実験機器のメンテナンス委託経費を節減。
〔会計事務の状況〕	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔職員の配置〕 ○業務全体の総括責任者 ○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者 ○動物実験に関する経験者 ○利用者の要望に応えられる体制	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔関係法令の遵守〕	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
総括	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

《評価指標》5: 協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

4: 協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。

3: おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

2: 協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。

1: 協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。

別紙

3 (3) 利用料金

(1) 施設利用料等

ア とっとりバイオフロンティア

(ア) 実験室等

区分		利用料	
オープンラボ		1室1月につき	306,020円
実験室	311、312	1室1月につき	53,580円
	313、314	1室1月につき	55,290円
動物飼育室		1室1月につき	15,050円
居室	301、302	1室1月につき	28,600円
	303、304	1室1月につき	29,450円

備考

- 1 利用期間が1月未満であるとき、又は利用期間に1月未満の端数があるときは、日割りをもって計算するものとする。
- 2 電気代及び水道代の実費を別途徴収するものとする。

(イ) 研修室

区分	利用料	冷暖房料
研修室	1時間につき 420円	1時間につき 105円

備考

- 1 利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。
- 2 冷房または暖房を使用したときは、利用料の額に冷暖房料を加算するものとする。

(ウ) 実験動物の給餌、給水並びにケージの交換、滅菌及び洗浄等

1 ケージ1日につき 40円

備考

- 1 利用期間が1日未満であるとき、又は利用期間に1日未満の端数があるときは、1日として計算するものとする。

イ 鳥取大学臨床実験施設5階

実験動物の給餌、給水並びにケージの交換、滅菌及び洗浄等

1 ケージ1日につき 40円

備考

- 1 利用期間が1日未満であるとき、又は利用期間に1日未満の端数があるときは、1日として計算するものとする。

(2) 設備利用料

(ア) 研修室

区分	利用料
プロジェクター	1時間につき 470円
スクリーン	1時間につき 100円

備考 利用時間が1時間未満であるときは、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

(イ) 開放機器

区分	利用料
別記1に掲 機器を個別に使用する場合	1機器1時間につき 100円

げる設備	一般機器を一括して使用する場合	1日につき 1,020 円 (4時間以内の場合 510 円)
	全機器を一括して使用する場合	1日につき 3,080 円 (4時間以内の場合 1,540 円)
別記2に掲げる設備		1区画1日につき 100 円
別記3に掲げる設備		1機器1日につき 100 円

備考

- 1 利用料が1時間あたりで計算される場合について、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。
- 2 利用料が1日あたりで計算される場合について、1日は、午前9時から起算するものとし、利用期間が1日未満であるとき、又は利用期間に1日未満の端数があるときは、1日として計算するものとする。

別記1

- 1 一般機器
 - クリーンベンチ
 - 安全キャビネット
 - ドラフトチャンパー
 - オートクレーブ
 - 小型冷却遠心機
 - スイング型冷却遠心機
 - 大型遠心分離機
 - 遺伝子導入装置
 - 倒立型蛍光顕微鏡
 - 倒立型生物顕微鏡
 - 実体顕微鏡
 - 生物顕微鏡
 - オールインワン顕微鏡
 - ゲル撮影装置
 - 微量サンプル計測設備
 - PCRマシン
 - 分光光度計
 - 蛍光実体顕微鏡
 - ビニールアイソレーター
 - 小型CO2インキュベーター
 - 実験用器具自動洗浄機
- 2 専門機器
 - リアルタイムPCR
 - パラフィン包埋ブロック作製装置
 - マイクローム
 - 遺伝子抽出装置
 - 感染防止対策用クリオスタット
 - プレートリーダー
 - マイクロダイセクション
 - 共焦点顕微鏡
 - 染色体解析専用顕微鏡
 - 小型動物麻酔器
 - 動物組織固定装置
 - 密閉式自動固定包埋装置
 - バイオサンプル粉砕装置

全自動万能型回転マイクローム
パラフィン伸展器
インキュベータ顕微鏡
超遠心分離機
血液生化学分析機
多検体サンプル粉碎器
発光ライブセルイメージングシステム
培養細胞リアルタイム発光計測装置
化学発光・蛍光検出機
超音波サンプル粉碎器
セルアナライザ
高感度冷却CCDカメラ
プログラムフリーザー
Invivo 発光イメージングシステム
マイクロインジェクションシステム
マイクロインジェクション針調整機

別記2

薬用冷蔵ショーケース
薬用保冷库
超低温フリーザ
薬品冷蔵庫
細胞保存用液体窒素タンク
薬品保冷库

別記3

冷却小型振とう培養器
冷却大型振とう培養器
大腸菌培養用インキュベーター
CO₂インキュベーター
乾熱滅菌乾燥機
パラフィン溶融器

